

第3回 新沖縄発展戦略有識者チーム会議

①日時：令和元年9月13日（金）10：00～12：00

②場所：県庁6階第1特別会議室

③参加者：

有識者チーム メンバー	富川盛武	沖縄県副知事
	池宮城秀正	明治大学名誉教授 元沖縄県政策参与
	前村昌健	沖縄国際大学教授
	上妻毅	(一社)ニュー・パブリック・ワークス代表理事
部局連携員	下地正之	土木建築部 参事監
	伊集直哉	商工労働部 産業雇用統括監
報告者	宮平尚	企画部 参事
事務局	企画部 企画調整課	
	(株)おきぎん経済研究所	
	ブルームーンパートナーズ(株)	

④議題等：

(報告事項)
1 前回会議の議事概要、論点について ・前回の振り返りコメント(各委員)
(議題)
2 「駐留軍用地の跡地利用」について ・各委員の発表事項、コメント
3 今後のスケジュール等について(事務局) ・視察先(たたき台) ・有識者インタビュー候補者(たたき台)

⑤議事概要(主な意見等)：

駐留軍用地の跡地利用について、各委員から提案、意見等が挙げられた。

主な意見等は下記のとおり。

- ・ 駐留軍用地の跡地利用について、「公園・緑地」の優先的な確保が重要であるとともに、商業地、住宅地については、制御・抑制すべき目線があると考えます。
- ・ 普天間飛行場跡地における大規模公園の整備については、持続可能な観光に向けた新しい資産の形成、防災、環境保全など多面的な価値の附与、海洋博記念公園、首里城に続く新たな国営公園としての整備などが検討課題だと考えます。
- ・ 県民の限られた資源である駐留軍用地跡地の利用計画は、現在および将来における県民のwelfareに資するようデザインすることが重要である。
- ・ 跡地開発は県土構造を再編する好機である。跡地利用に向けた計画の策定を着実に進め、圏域、地域の枠を超えた広域的な観点から総合調整を行い、潜在する発展可能性を最大限に引き出す必要がある。
- ・ 跡地利用における産業配置については、理念や時代の変化、未来等を見据えて、どのような産業が望ましいか、もう一度再整理する必要がある。